令和5年6月21日
文部科学省高等教育局
大学教育・入試課大学設置室

大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準の一部を改正する告示の一部を改正する告示案に関するパブリックコメント（意見公募手続）の結果について

「大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準の一部を改正する告示の一部を改正する告示案」について、令和5年5月19日から令和5年6月18日までの期間、電子政府の総合窓口の意見提出フォーム・郵便・電子メールを通じて、広く国民の皆様から御意見の募集を行いましたところ、合計1件の御意見をいただきました。（その他、今回意見募集の対象とする省令案に関係しない御意見が1件ございました。）

いただいた主な意見の概要及びそれに対する文部科学省の考え方は別紙のとおりです。なお、とりまとめの都合上、内容により適宜集約させていただいております。貴重な御意見をお寄せいただき、厚く御礼申し上げます。

(別 紙)

主な意見の概要	文部科学省の考え方
○改正告示を定めようとする段階で本経過措置を設けなかった理由は何か。	大学、短期大学及び高等専門学校 の設置等に係る認可の基準の一部を 改正する告示（令和4年文部科学省 告示第129号）の制定の際にも経過 措置の要否について検討を行い、改 正前の平均入学定員超過率に関する 基準と収容定員充足率に関する基準 との異動は大きくないことや一定期 間の議論がなされてきたことなどを 踏まえ、経過措置を設けないことと していましたが、個別の大学からの 問い合わせ等を踏まえ、円滑な施行 を図る観点から、本経過措置を設け ることとしました。
○大学の定員は廃止すべき。需給は市場原理に委 ねるべき。	今回の改正と直接の関係はありま せんが、今後の参考とさせていただきます。